

「砕かれた霊」

Ⅱサムエル記 12:1-15

2019.2.17 HKJCF

1

概観

サウル王に狙われても主にあって正しい姿勢を貫いたダビデは、なぜ大罪を犯したのか、神様に罪を告白し、赦しの体験について深く学びたい。

アウトライン

1. 緊張が緩むリスク (Ⅱサムエル11章)
2. 自分の実態の無知 (Ⅱサムエル12章)
3. 赦しの恵み (詩篇32篇)

2

1. 緊張が緩むリスク(Ⅱサムエル11章)

- 1) 夕暮れの時：一線を退いた時 (11:1-2)；**格闘の歩み** (エペソ 6:10-12)。心を見守る大切さ (箴言 4:20-23) ⇒ **誘惑**に対する防衛。
- 2) **罪を犯す過程**：誘惑≠罪；欲→罪→死 (ヤコブ 1:14-15)；やめられず、増大する溝。自分でコントロールできる錯覚。
- 3) **破綻してしまった関係**：物事を隠す習慣 (創世記 3:7-9)。神様から離れたら、自分が**神になる**仕組み；「どこにいるのか？」。

3

2. 自分の実態の無知 (Ⅱサムエル12章)

- 1) **ナタンのたとえ**：「富んでいる人・羊と牛の群れ」⇔「貧しい人・一頭の子羊」 (12:1-4)。
- 2) **自分を見失うリスク**：自分とは**無関係**という決断→**自分のこと**として聞く訓練 (12:5-6)。
- 3) **王になった恵み**：王位、サウルからの救い、サウルの家と妻、統一王国 (12:7-8)。
- 4) **感謝せず、むさぼる心**：神様に求めず、**自分の方法**で分捕る**反抗心** (12:9) ⇒**権力の濫用**。**罪の結果**を刈取る (12:10-12、14)；罰×。

4

3. 赦しの恵み (詩篇32篇)

- 1) **神の権威を認める**：赦す**権威**にへりくだる (12:13)；罪をおおうのは自分→**神様** (32:1-2)。
- 2) **霊に欺きがない**：隠し罪がある⇒うめき、疲れ果て、重い御手、乾ききった骨 (32:3-4)。
- 3) **完全主義を捨てる**：不完全さを受け入れ、**赦される恵み**に対して貪欲に (32:5)。
- 4) **恵みの拡大再生産**：大水の濁流と苦しみから守られる (32:6-7)。信仰の先輩の忠告：**神様との綱引き**をやめるように (32:9-11)。

5

適用

- 1) **神様と聖書の権威を認めるように**：**神様と聖書の権威**の下に、へりくだって与えられた**立場と賜物**を発揮するように。
- 2) **自分を吟味し、真実な関係を築くように**：自分の過ちを隠さず、**逃避せず、大事な関係**において本気に**回復の歩み**に取り組むように。

6